

国内外企業の進出を
ワンストップサービスで
支援する総合窓口

ひょうご・神戸投資サポートセンター (財団法人ひょうご産業活性化センター)
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-1 神戸商工会議所会館4階
TEL:078-302-2071 (代) FAX:078-302-2265 hkisc@staff.hyogo-iic.ne.jp

ビジネスサポートセンター・東京
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階
TEL:03-3230-2721 FAX:03-3230-2722 hkbsc@hyogo-kobe.jp

ビジネスも自然も文化も生活も、 すべての環境がそろった 「ひょうご・神戸」エリア

～ビジネスを支えるベスト・バランスに注目～

いにしへの時代には都があり、政治や産業、文化の中心として栄えてきた関西は、現在も日本第二の巨大商圏を形成しています。さらに、“人もの・カネ”が極集中する首都圏に比べ、いろんな面でゆとりがあり、快適な環境が整っているのが特色。ものづくりの伝統を受け継ぐ強固な産業基盤からは、ディスプレイや電池などの次世代型の生産拠点も集積し、ビジネスの可能性に満ちています。中でも兵庫県は、ビジネスと快適性のバランスが大きな魅力となり、多くの企業が進出しています。

「パネルベイ」「バッテリーベイ」が 牽引する関西のビジネスパワー

現在、兵庫、大阪、和歌山の海岸線を結ぶ大坂湾一帯では、薄型テレビのディスプレイパネル、リチウム電池・太陽電池などを生産する大型工場が続々と建設されており、ベイエリア全体が「パネルベイ」「バッテリーベイ」と呼ばれています。投資総額は1兆数千億円にも上り、環境や新エネルギー分野における世界最先端の生産地になりつつあります。

「パネルベイ」「バッテリーベイ」形成の背景には、日本で唯一24時間稼働する「関西国際空港」やスーパー中核港湾「阪神港」をはじめ、空港、新幹線などの鉄道網、高速道路網といったインフラが重要な役割を果たしています。

関西ではもともと各地に従来型産業が集積し、発展してきました。さらに、近年は「神戸医療産業都市」や「彩都ライフサイエンスパーク」などのバイオ・医療産業のクラスターが形成され、産学連携を推進。ものづくりから研究開発まで、関西圏には実に幅広い産業構造が確立しています。

質の高い暮らしを実現する ひょうご・神戸の環境

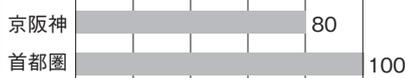
ビジネスはもちろん、オフの時間を快適に過ごせる周辺環境と街の機能が充実。外国人にとって住みやすさは、全国でもトップクラスです。

・豊かな自然環境

兵庫県は、北は日本海、南は瀬戸内海から太平洋に面し、変化に富んだ自然環境に恵まれています。神戸市は背後に六甲山、目の前には大坂湾と、自然を身近に感じることができます。

・軽快な交通アクセス

平均通勤時間(首都圏を100とした場合)



神戸から日本各地への所要時間
(航空機) [鉄道]



・外国人に快適な生活環境

県内には141カ国、約10万1千人の外国人が暮らしており(平成21年12月末現在)、外国人向けの施設、行政サービスや支援が充実。東京に比べて物価が安いのも特徴です。

・外国人向けの学校、医療が充実

神戸市を中心に中国系、欧米系など13の外

国人学校があり、外国人児童生徒を支援するために教育相談やサポーターの派遣調整などを行う施設も常設。多言語による対応可能な医療機関も充実しています。

人と情報が集まる街、神戸へ

神戸市では、経済効果や情報発信につながるとして、国際会議の誘致に力を入れており、ここ3年は年間200件を超える会議が開かれています。世界的にも注目を集める重要かつ大規模な会議も多く、2010年8月には参加者数約5千人、70以上の国々から研究者が集まるという、神戸市では過去最大級の「国際免疫学会議」(日本免疫学会主催)が開催。世界から人と情報が集まる国際コンベンション都市としての期待が、ますます高まっています。



- A パネルベイバッテリーベイ
- B 彩都ライフサイエンスパーク(バイオ・医療・創薬)
- C 神戸医療産業都市(先端医療・創薬)(次世代スーパーコンピューター)
- D 播磨科学公園都市(ナノテク・SPring-8)
- E 阪神工業地帯(電気機器・一般機械・鉄鋼)
- F 臨海工業地帯(石油・化学・鉄鋼)
- G 桂イノベーションパーク地区(ライフサイエンス・環境)
- H 関西文化学術研究都市、文化・学術・研究の拠点

- ①旭硝子(株)関西工場 [兵庫県尼崎市] / 液晶・プラズマディスプレイ用ガラス基板
- ②旭硝子(株) [兵庫県高砂市] / ガラス基板(2009年度竣工)
- ③株IPSアルファテクノロジー [兵庫県姫路市] / 液晶パネル(2010年7月稼働予定)
- ④三洋電機(株) [大阪府貝塚市、兵庫県南あわじ市] / リチウムイオン電池(2009年までに順次竣工)
- ⑤カネカソーラーテック(株) [兵庫県豊岡市] / 薄膜シリコン太陽電池
- ⑥三洋電機(株) [兵庫県加西市] / HEV用リチウムイオン電池(2010年7月竣工予定)
- ⑦パナソニック(株) [兵庫県尼崎市] / プラズマ・ディスプレイ・パネル(PDP)(2009年12月竣工)
- ⑧パナソニック(株)エナジー社 [大阪府大阪市(住之江区)] / リチウム二次電池(2009年生産開始)
- ⑨シャープ(株)、大日本印刷(株)、コーニングジャパン(株)など [大阪府堺市] / 液晶パネル、太陽電池など(2009年10月生産開始)
- ⑩住友金属工業(株) [和歌山県和歌山市] / 鋼管、薄板(高炉の改修、焼結設備等)(2012年度までに順次竣工予定)

国内外企業の進出を
ワンストップサービスで
支援する総合窓口

ひょうご・神戸投資サポートセンター (財団法人ひょうご産業活性化センター)
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-1 神戸商工会議所会館4階
TEL:078-302-2071 (代) FAX:078-302-2265 hkisc@staff.hyogo-iic.ne.jp

ビジネスサポートセンター・東京
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階
TEL:03-3230-2721 FAX:03-3230-2722 hkbsc@hyogo-kobe.jp

美容と健康をテーマに、高度な技術で 中国と日本の架け橋に

神戸の快適環境を背景に技術が躍動、研究開発で時代の潮流に乗るBHI社
「神戸は最高のロケーションです」と言い切るのは、昨年4月、神戸ポートアイランド第2期に
誕生した株式会社Beauty & Health Innovation (以下BHI社)の社長、楊建中氏。化粧品
や健康食品の研究・開発を主な業務に、中国と日本、双方の舞台で躍進を目指すBHI社に
とって、この立地環境は不可欠なのだとか。進境著しい同社の事業活動と、それを支える環
境について、楊社長にお話をうかがいました。



株式会社
Beauty & Health
Innovation

代表取締役社長
楊建中氏



慣れ親しんだ 日本を舞台に技術で勝負

—BHI社の事業内容についてご紹介ください。

現在、事業の柱はメーカーへの技術提供です。当社は、中国の大手化粧品メーカー「江蘇隆力奇生物科技有限公司」から50%以上の出資を受け、子会社として設立されました。そのため、親会社からの受託研究が中心となります。

また、他社への技術提供も行いつつあり、すでに日本と米国の企業4、5社からオファーをいただいています。その中には日本の超大手企業も含まれており、当社の技術力にさらに自信を深め、ますます可能性を感じています。

—中国でも米国でもなく、日本での会社設立の理由とは。

留学時代を含めて20年近くも日本で暮らしてきた私にとって馴染みが深かったこと。そして、これから最重要となる中国市場に近いこと。さらに、日本人と中国人の大多数は人種的に似ており、ヘアケアやスキンケア製品を開発するのに都合がいいため。日本なら、実際の人をモデルに製品の評価を行うパネルテストが容易です。

ビジネスと暮らしの バランスから神戸を選択

—世界的な地質学者、楊逸驥氏を父に持つ楊社長。かつては同じ研究者の道を志してい

たそうですが。

私は日本での留学を終えた後、米国のアリゾナ大学で研究員として従事し、そのまま父のように研究者として生きるつもりでした。しかし、妻の妊娠を知ったときから考えを変えました。父はチベットのヤルツアンポ河大峡谷が世界最大であることを証明するという偉業を成し遂げた人物ですが、1年の半分は調査活動で不在。家族にとっては決していい父親とはいえませんでした。そんな姿を思い出し、私は家庭を大切にしようと考えて産業界を活躍の場と決めました。

—神戸を拠点に選んだのも、家庭を思う気持ちに通じるようですね。

そのとおりです。ビジネスだけで見れば東京が圧倒的に有利ですが、暮らしとのバランスという点では神戸がベスト。生活環境のよさはビジネスの活力にもつながります。私は故郷の北京を出てから、日本とアメリカそれぞれ3都市、合計25年を外国で暮らしましたが、神戸は世界で一番ですね。

神戸は気候がよく、大都市なのに海と山が身近にあります。また、歴史的に外国人が多く、外国人向けの生活施設やコミュニティも充実しています。特に学校が素晴らしく、子どもたちの教育にも満足しています。外国人であることのストレスを感じさせないのも魅力。例えば、東京でさえ中国語で話すのは少しためらいますが、神戸にはそれが全くなく、とてもリラックスできます。

研究開発を軸にOEM推進と 自社ブランド確立を目指す

—「医療産業都市」に立地することで、さらに生まれるメリットとは。

事務所と研究施設を併設したオフィスが整っていて、そこに入居できたのは強みですね。また、周囲に最先端の実験・検査設備をもつ施設

があり、それを利用していつでも高度な実験や分析が行えること。そんなハード面だけでなく、将来、近接する企業や機関との共同研究の可能性も十分。育毛メカニズム、皮膚のアンチエイジングなど、いろいろ研究していきたいですね。

また、ここは交通の便がよく、神戸空港へはオフィスから車で5分。毎月1回程度の東京出張は苦になりません。むしろ、毎日の通勤に要する時間の短さや快適さこそ、大きなメリットです。

—これからの展望についてお聞かせください。

まもなく実現するのが、親会社のOEMによる製品輸入。当社の技術による高品質の製品を親会社が低コストで生産し、それを輸入して日本のブランドから販売しようというもの。私は日本のマーケットや考え方をよく知っていますし、社員は日本人。BHI社が間に立って日本と中国をつなげば、時代の潮流にしっかりと乗れるものと確信しています。

さらに2年後を目標に進めているのが、中国の漢方を用いた製品を開発し、自社ブランドとして世に出すこと。中国の長い歴史に培われた確かな効能を髪や皮膚に生かし、この製品といえはBHI、BHIといえはこの製品というブランドにまで高めたいと考えています。

株式会社 Beauty & Health Innovation

本社 神戸市中央区港島南町5-5-2 神戸国際ビジネスセンター3F/6F

設立:2009年4月1日

資本金:1,000万円

事業内容:1.健康食品の研究、開発、製造、販売及び輸出入 / 2.化学薬品、医薬部外品、化粧品の研究、開発、製造、販売及び輸出入 / 3.日用雑貨品の企画、製作、販売 / 4.化粧品の研究開発に関するコンサルティング及び人材育成 / 5.上記に付帯関連する一切の業務

従業員 :14名(2010年3月1日現在)